



プレスリリース
報道関係各位

2024年11月1日
株式会社 Box Japan

Box Japan、ユーザーアワード「Box Customer Award Japan 2024」の受賞企業を発表 ～ ファイナリスト 8 社からオンワードホールディングスと井村屋グループが優勝 ～

インテリジェントコンテンツ管理（ICM）プラットフォームを提供する Box, Inc.の日本法人である株式会社 Box Japan（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：古市 克典、以下 Box Japan）は、2024年10月24日（木）に開催した「Box ユーザー祭り24」におけるユーザーアワード「Box Customer Award Japan 2024」において、大企業部門では株式会社オンワードホールディングス、中小企業部門では[井村屋グループ株式会社](#)が優勝企業に選出されたことを発表いたしました。

The graphic features a blue background with the Box User Festival logo on the left and the Box Japan Customer Award logo in the center. It lists winners and runners-up for two categories: Small Business and Large Enterprise.

中小企業部門	大企業部門
〈優勝〉 井村屋グループ株式会社	〈優勝〉 株式会社オンワードホールディングス
〈準優勝〉 阪神高速技術株式会社	〈準優勝〉 BIPROGY株式会社

「Box Customer Award Japan」は、Box Japan が 2020 年より年に一度実施しているアワードで、Box のさまざまなユースケースをユーザー様自身が発表することで、活用をさらに深めるためのヒントを提供することを開催目的としています。「Box Customer Award Japan 2024」では、事前の書類選考を通過した大企業部門の 4 社と中小企業部門の 4 社の計 8 社のファイナリストが集結し、業務課題に対する Box の利活用や導入から運用フェーズへのスムーズな移行方法、Box 管理者としての経験談などを発表しました。アワード当日は、各社 15 分間のプレゼンテーションを行い、独創性、熟練度、再現性の 3 点を評価の軸として、Box Japan の審査員 15 名と当日のオンライン配信視聴者による公正な審査のもと、優勝、準優勝の企業が選出されました。

この度の発表に際し、Box Japan 代表取締役社長の古市 克典は以下のように述べています。



「ユーザーの皆様のためのイベント『Box ユーザー祭り』も今年で 5 回目を迎えることができました。『Box Customer Award Japan』では、Box の活用を通じた社内変革に最前線で取り組まれている皆様の発表が年々確実に進化しています。Box が企業の DX や働き方改革などさまざまな文脈で貢献しているのを確信し、感銘を受けると同時に Box Japan としてさらに支援をしてみたいと強く感じています。」

受賞企業とユースケースは以下のとおりです。



<受賞企業>

大企業部門

受賞種別	企業名	ユースケース	授賞理由
優勝	株式会社オンワードホールディングス	<ul style="list-style-type: none">• 全社員で取り組む DX をテーマとした Box Relay 活用推進<ul style="list-style-type: none">- 一般ユーザーに興味を持ってもらえるように文言などを工夫して複数回セミナーを実施- 細かくフォローアップすることで日々の業務のちょっとした自動化を実現• API を駆使したアプリ連携<ul style="list-style-type: none">- ノーコード/ローコードアプリ勉強会からスタートし、最終的には kintone や Workato と連携したアプリを開発	独創性、熟練度、再現性、すべてのカテゴリで高評価を獲得。Box の利用定着化のために継続的にセミナーなどの取り組みを実施。さらに、kintone などの他ソリューションとの連携は、多くの企業にとって有効な事例となる。 レポート記事は こちら
準優勝	BIPROGY 株式会社	<ul style="list-style-type: none">• 気付かないうちに利用している Box AI<ul style="list-style-type: none">- 従業員が気付かないうちに Box Hubs を利用している状況を作り、その中で Box AI for Hubs を利用してもらうことで Box AI 全体の活用を加速• Box AI 利活用促進<ul style="list-style-type: none">- Box 導入時にも活用して効果のあった社内 SNS を活用して、Box AI 豆知識を社内に公開していくことで利活用促進を図る。	Box AI for Hubs をフル活用し、AI による非構造化データの活用を促進。また、新機能を検証する具体的な実践例は、多くの企業の参考となる。 レポート記事は こちら



中小企業部門

受賞種別	企業名	ユースケース	授賞理由
優勝	井村屋グループ株式会社	<ul style="list-style-type: none">• メタデータの自動抽出<ul style="list-style-type: none">- Box に各種電子帳簿をアップロードする際に、メタデータを自動的に抽出し、可能な限り手入力させない仕組みを構築（各種 API 活用）• 集計されたデータを Box へ出力連携<ul style="list-style-type: none">- BI ツールによって集計・成形されたデータを Box へ出力連携することで、Box を見にいけば様々なデータに効率的にアクセスできる環境を構築	独創性、熟練度の観点で高評価を獲得。Box Hubs や Box AI など、Box の新機能を柔軟に取り入れ、効果的に社内展開を実現した事例である。 レポート記事は こちら
準優勝	阪神高速技術株式会社	<ul style="list-style-type: none">• Box 利用率 97%を実現した研修計画<ul style="list-style-type: none">- Box 説明会に留まらず、定期的な情報発信・マニュアル展開など幾重にもわたる定着化施策を実施• 自発的に Box のスキルを身につけることができる仕掛け<ul style="list-style-type: none">- 全社員に目指してほしい Box スキルを目標として定義し、レベル・カテゴリーごとに資料を整理し、自主的にスキルを身につけることができる環境を準備	再現性の観点で高評価を獲得。「Box スキルチェックシート」を作成し、社内で効果的にインネブルメントを実施したユースケースは多くの企業の参考となる。 レポート記事は こちら

「Box ユーザー祭り'24」は、2024 年 11 月 22 日（金）まで、下記 URL にてアーカイブ配信を実施しています。

<https://boxusermatsuri.jp/>

Box について

インテリジェントコンテンツ管理（ICM）プラットフォームのリーディングカンパニーである Box (NYSE: BOX)は、企業のコラボレーション促進や、コンテンツのライフサイクル全体の管理、重要なコンテンツの保護、そしてエンタープライズ AI によるビジネスワークフローの変革を実現することを目指しています。2005 年に米国で設立され、アストラゼネカ、JLL、モルガン・スタンレーなどを含む大手グローバル企業や日本では約 19,000 社および日経 225 の 75%の企業の業務効率化を支援しています。

Box は、カリフォルニア州レッドウッドシティに本社を置き、米国、ヨーロッパ、アジアに拠点を持っています。また、

Box.org では、非営利団体のミッション実現を支援するために多様な活動を行っています。

株式会社 Box Japan は 2013 年に設立された日本法人です。日本国内の情報については、下記のサイト「Box Square」で随時更新しています。

<https://www.boxsquare.jp/>



報道機関からのお問い合わせ先

株式会社 Box Japan

広報担当：佐保

E-mail: msaho@box.com